

トロフィーが展てん示じされた

真しん紅くのお皿さら

貴き重ちやうな古ふるい切きつ手て

創そう立りつ三さん十じつ周しゅう年ねんの会かい社しゃ

いちようの切きり株かぶ

宿しゆく題だいを忘わすれてしまった

優すぐれた頭ず脳のう

能のう力りよくが認みとめられた

複ふく雑ざつ骨こつ折せつした

親しん類るいが亡なくなった